6月12日(金)01 清水英知 議員 答弁資料目次(令和2年6月 定例会)

		(分割方式)	2-1
番号	質問事項	答 弁 者	答弁 順番
1-1 1-2 1-3	市長の政治姿勢について	市長	1
番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1 2-2 2-3	感染拡大の再燃と医療崩壊の防止について	福祉保健部長	1
番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3–1 3–2 3–3	子どもたちの学びと安全の保障について	教育長	1
番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4–1	学生への支援について	教育部長	1
番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
5-1	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う就学援助等 による家計急変への対応について	市長	1
番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
6-1 6-2	生活保護制度の運用について	福祉保健部長	1
番号	質問事項	答弃者	答弁 順番
7-1	新型コロナウイルス感染症の支援策の周知について	総務部長	1

6月12日(金)01 清水英知 議員 答弁資料目次(令和2年6月 定例会)

(分割方式) 2-2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
8-1	熱中症対策について	福祉保健部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
9-1	甲府市新型コロナウイルス感染症対策本部への女性 の登用について	危機管理監	1

令和2年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

子どもたちの学びと安全の保障について

- (1) 質問者 清水英知 議員
- (2) 質問日 6月12日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

文部科学省は、新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならないという認識に基づき、感染リスクを可能な限り低減しつつ学校教育活動を再開していくことが重要であるとの見解を示しております。

本市におきましては、県内の感染状況を踏まえ、5月24日の入学式から学校を再開したところでありますが、再開にあたっては、校長会を通じて、各校に、学習事項の重点化や単元の入れ替えなどを行う中で、児童生徒への過重な負担を避けつつ効果的な指導を工夫するとともに、心理的なストレスに係るリスクは、どの児童生徒にも起こりうることを意識し、学級担任等を中心としたきめ細かな健康観察とスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの積極的な活用により、心の問題に適切に取り組むよう指示したところであります。

身体的距離の確保については、各校において、文部科学省、及び県教育委員会からの通知に基づき、適切な距離が確保できるよう対応しております。

教職員の新たな業務につきましては、再開後の2週間を午前中のみの授業としたことで、午後の時間帯に、教職員が業務を振り返る中でゆとりを持って、さまざまな対応に取り組むことができ、再開当初と比べ、効率的な健康観察、清掃、消毒等の実施や適切な分担による負担の軽減が図られてきております。

今後におきましても、学校現場と連携しながら、感染症対策や学習指導など効率的で効果的な学校運営を図る中で児童生徒の心身の健やかな成長に努めてまいります。

令和2年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

学生への支援について

- (1) 質問者 清水英知 議員
- (2) 質問日 6月12日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 甲府商科専門学校
- (5) 答弁内容

甲府商科専門学校は、3月2日から5月22日まで新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、臨時休業措置をとってまいりましたが、この間、いち早く双方向のリモート環境を整備し、4月16日の入学許可式を皮切りに、17日には始業式、20日からは、全学生を対象に、リモートでの授業を開始し、学生の学ぶ機会を確保してまいりました。

現在、商科専門学校では、今年度から開始された、所得に応じた授業料等の減免や給付型奨学金の支給が行われる「高等教育の修学支援新制度」と、新型コロナウイルス感染症の拡大によりアルバイト収入等が激減し、経済的な困難に直面している学生への、国の新たな支援策である「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』の申請の支援を行っているところであります。

商科専門学校は公立の教育機関として、これまでも生活困窮となった学生に対し、授業料の納付期限の延長、分割での納付、また、特別な事情がある場合は、個々の学生の経済状況に応じた授業料の減免などを行ってまいりました。

今後も、新型コロナウイルス感染症対策に限らず、困窮している学生の学 びの機会が失われないよう、適切な支援を実施してまいります。

6月12日(金)02 山田弘之 議員 答弁資料目次(令和2年6月 定例会)

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1	市役所庁舎の感染症予防対策について	総務部長	1
1-2	健康支援センターの感染症予防対策について	福祉保健部長	2
1-3	公民館及び悠遊館等の開館に伴う新型コロナウイル ス感染症拡大予防対策について	危機管理監	3

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1 2-2	市立甲府病院の感染症予防対策及び職員の特殊勤務 手当について	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3–1	あすなろ学級における感染症対策について	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1	新型コロナウイルス感染症影響下における「甲府市子 ども未来応援条例」の取組について	子ども未来部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
5-1 5-2	防犯街路灯の補助と広報誌等の配布について	市民部長	1

令和2年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

あすなろ学級における感染症対策について

- (1) 質問者 山田弘之 議員
- (2) 質問日 6月12日
- (3) 答弁者 市長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

本市では、感染拡大防止のため、3月3日午後より市立小中学校を臨時休業としておりましたが、私は、今後、長期間にわたり、社会全体が新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならない状況を踏まえ、市教育委員会に対して、感染症対策と子どもたちの健やかな学びの両立を要請し、市立小中学校では、徹底した感染症対策を講じる中で5月24日の入学式を皮切りに学校を再開したところであります。

あすなろ学級におきましても、学校の臨時休業に合わせ、児童生徒の受け 入れを中止しておりましたが、学校再開を受け、新年度の入級手続きが済ん だ児童生徒から、順次、受け入れを開始し、感染症対策に万全を期す中、現 在、3つのあすなろ学級全体で、8名の児童生徒が通級しているところであ ります。

感染症対策といたしましては、本市が独自に作成した「新型コロナウイルス感染症 学校再開のためのマニュアル」に基づき、家庭での検温の実施と発熱等がある場合の通級の自粛、指導にあたっては、近距離での会話を避けること、手洗いやマスク着用の励行、座席の間隔を空けるとともに、換気や消毒を定期的に行うなどの取組を徹底しております。

また、老朽化への対応が喫緊の課題となっていた山宮本級につきましては、 新型コロナウイルスの感染拡大により、衛生的な環境の保持・管理が一層、

求められるようになったことから、一刻も早い移転が必要と判断し、山宮本級が担っていた、スポーツ大会、収穫・調理体験、野外活動など3級合同での活動が可能な、岩窪町地内にある北部幼児教育センターへ、5月末までに移転作業を終え、6月1日より、同所にて指導を開始しております。

今後におきましても、甲府の未来を担う、全ての子供たちが、安心して学 び、心身ともに健やかに成長できる環境づくりに努めてまいります。

6月12日(金)03 坂本信康 議員 答弁資料目次(令和2年6月 定例会)

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1 1-2	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う行財政運営に ついて	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	子どもの育ちを応援する取組の進捗状況と今後の展 開について	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3–1	学校におけるコロナウイルス感染症対策について	教育長	1
3-2	コロナウイルス感染症に係る教育について	教育長	2
3–3 3–4	臨時休業による学習の遅れ、及び学力低下に関する対 策について	教育長	3

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1	新型コロナウイルス感染症と自然災害の複合災害に おける避難所での対策について	危機管理監	1

令和2年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

学校におけるコロナウイルス感染症対策について

- (1) 質問者 坂本信康 議員
- (2) 質問日 6月12日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

新型コロナウイルス感染症とともに生きていく社会においては、感染リスクを可能な限り低減させながら学校教育活動を行っていくことが重要であると考えております。

市教育委員会では、学校再開にあたり、文部科学省や県教育委員会の通知 を踏まえ、学校現場や保護者の意見も勘案し、保健所とも協議する中で、独 自の「新型コロナウイルス感染症 学校再開のためのマニュアル」を作成した ところであります。

このマニュアルでは、対策の基本方針を、「感染源を絶つこと」、「感染経路を絶つこと」、「抵抗力を高めること」とし、各校に対し、具体的な取組を指示しております。

これを受け、各校では、各家庭での毎朝の検温、発熱等かぜ症状のある児童生徒の登校の自粛、手洗いやマスク着用を含む咳エチケットの励行、座席の間隔を可能な限り空けることや近距離での会話、並びに身体的接触を避けるなど3つの密が重ならないような授業の工夫を行うとともに、定期的な換気や消毒など環境を衛生的に保つようにしております。

また、免疫力を高めるための十分な睡眠、バランスのとれた食事、適度な 運動についても指導しているところであります。

今後も、学校における総合的な感染症対策に取り組み、感染、及びその拡

大のリスクを可能な限り低減する中で、全ての児童生徒の学びの保障と心身 の健やかな成長に努めてまいります。

令和2年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

コロナウイルス感染症に係る教育について

- (1) 質問者 坂本信康 議員
- (2) 質問日 6月12日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

政府は、新型コロナウイルス感染症について、ある程度の長期戦を覚悟したうえで、ウイルスの存在を前提とした新たな日常を作っていく必要があるとの見解を示しております。

市教育委員会といたしましても、未来を担う子供たちが、この新たなウイルスに適切に対処していく力を育むことは、とても重要であると考えております。

学校再開に当たっては、校長会を通じ、各校に対して新型コロナウイルス 感染症への正しい理解と行動について文部科学省や医療機関が作成した資料 などを題材に、児童生徒の発達段階に合わせ、適切に指導を行うよう指示し たところであります。

各校においては、感染経路や症状、潜伏期間といった特徴に加え、手洗いや、咳エチケット、3つの密を避けるなど、感染を防ぐための行動について指導しております。

さらに、本感染症は、感染経路が不明な事例も多く、誰もが感染者になり うることを踏まえ、感染の渦中にある方や感染拡大防止のために最前線で、 尽力されている方々に対する偏見や差別は、決して許されることではないこ とを基本姿勢として、指導にあたるとともに、こうした方々への想像力と共 感を育む指導を学級活動や道徳の時間などを通じて行っております。

今後におきましても、学校現場や保健所をはじめ関係機関と連携しながら 新型コロナウイルス感染症への正しい理解と偏見や差別をなくす教育に継続 的に取り組んでまいります。

令和2年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

臨時休業による学習の遅れ、及び学力低下に関する対策について

- (1) 質問者 坂本信康 議員
- (2) 質問日 6月12日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

本市教育委員会では、臨時休業に伴う学習の遅れに対応するため、夏季休業日を8月1日から8月17日までに短縮することで、14日程度の授業日数を新たに確保することとし、各学校に対しては、行事の精選や簡略化、軽重をつけた学習指導などの工夫を行い、今年度予定されている学習内容をすべて指導するとともに児童生徒の学力の定着を図るよう指導しております。

学習支援動画につきましては、臨時休業中、及び学校再開後の家庭学習の 支援策として小学生は国語と算数の2教科、中学生は国語、数学、英語の3 教科で1回15分の動画を、現在、計63本、配信しております。

視聴環境がない児童生徒については、学校のパソコン教室を利用するなど して、希望者全員が視聴できるよう各校で対応しております。

学習支援動画の成果につきましては、現場の教員が教科書に沿って指導する内容であるため、視聴した児童生徒からは、非常にわかりやすいという声や保護者の方からは、臨時休業中の家庭学習での予習はもとより復習にも活用できるとのお声をいただいております。

また、教員にとっては、授業のあり方を見つめ直したり、ICTを活用した学習指導の格好の研修になったとの報告がなされております。

今後の計画では、一学期の学習事項のまとめと問題演習からなる学習支援 動画を、新たに夏季休業中に配信し、学習事項定着の一助としてまいりたい

と考えております。

動画の配信方法については、ネット配信に加え、現在、CATVでの放映 も、予定しており、これにより、家庭で視聴できる児童生徒は98%程度に なる見込みであります。

今後におきましては、ICTを有効活用する中で児童生徒の確かな学力の 向上になお一層、努めてまいります。

6月12日(金)04 輿石 修 議員 答弁資料目次(令和2年6月 定例会)

6–1	甲斐・勝山城について	教育部長	1	
番号	質問事項	答弁者	答弁 順番	
5-1 5-2	リニア山梨県駅 駅前整備について	市長	1	
番号	質問事項	答弁者	答弁順番	
4-1	公共交通 空白地域解消について	リニア交通政策監	1	
番号	質問事項	答弁者	答弁 順番	
3-1	AED(自動体外式除細動器)の緊急時の有効利用について	危機管理監	1	
番号	質問事項	答弁者	答弁 順番	
2-1	介護予防・日常生活支援総合事業の推進について	市長	1	
番号	質問事項	答弁者	答弁 順番	
1-1	新型コロナウイルス対策に係る検査体制について	福祉保健部長	1	
番号	質問事項	答弁者	答弁 順番	
		(分割方式)	1 1	

令和2年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

甲斐・勝山城について

- (1) 質問者 輿石 修 議員
- (2) 質問日 6月12日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 歴史文化財課
- (5) 答弁内容

本市には、武田氏館跡・要害山・湯村山城など信玄公や武田氏関連の多くの文化財があり、勝山城もそうした武田氏ゆかりの城跡の一つとして武田信 虎公の叔父、信恵(のぶよし)の城と伝えられております。

現状では、直径200メートル程の小山に土塁・堀などの遺構が確認でき、 城跡の周囲は耕地改良事業により乾田となっておりますが、以前は、「沼田め ぐり 攻めるにかたし 勝山城」と地元で表現されるほどの湿田であり、周囲 一帯の水田は堀跡(ほりあと)と推定されています。

昭和58年に農道が整備された際に行われた発掘調査では、帯郭(おびぐるわ)、土塁、石敷き遺構などが確認されましたが今後、文化財指定を行う場合には、歴史的価値を明らかにするため城跡の全容を確認する必要があります。

こうした中、勝山城の北辺にリニア中央新幹線の軌道がかかるため、山梨県と事業者であるJR東海が協議し、試掘調査が実施される予定であります。

本市といたしましては、この調査の動向を注視し、県との情報共有を図りながら、発掘調査の開始時期や範囲、及び成果の把握に努め、勝山城を今後どのように保存していくのか判断する材料のひとつとして調査結果を分析してまいりたいと考えております

6月15日(月)05 中村明彦 議員 答弁資料目次(令和2年6月 定例会)

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1	地方創生臨時交付金の拡充に伴う本市の対応について	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1 2-2	小中学校の体育館への冷暖房設備の設置について	教育部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1			
3-2	避難所の感染対策と3密対策について	市長	1
3-3	世紀// シルス 八水 こり 仏 八水 に ラゾ・ こ	11117	1
3-4			

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1	防災ラジオの導入について	危機管理監	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
5-1 5-3	受動喫煙の防止に向けた取組について	福祉保健部長	1
5-2	路上喫煙禁止区域内の喫煙所について	環境部長	2

令和2年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

小中学校の体育館への冷暖房設備の設置について

- (1) 質問者 中村明彦 議員
- (2) 質問日 6月15日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 教育施設課·学事課
- (5) 答弁内容

小中学校の体育館における空調設備の設置率は、全国的にも3.2%に留まっている状況であり、その主な要因は、初期費用とともにランニングコストが必要となることなどがあげられております。

近年、施設の大規模改造を行わずスポットクーラーをはじめ、設備機器に 工夫を凝らしている自治体が出てきていることは、承知しているところであ ります。

こうした中、本市の小中学校の体育館は、避難所として指定されておりますが、風水害等で垂直避難が必要な場合や暑い時期等の災害時には、暖房設備のある普通教室等を利用することとしております。

今般の新型コロナウイルス感染症について、国は、ある程度の長期戦を覚悟したうえで、ウイルスの存在を前提とした新たな日常を作っていく必要があるとの見解を示しております。

このことから、体育の授業や部活動、また避難所として体育館を利用する際にも窓の開放や十分な換気を行うなどの感染予防対策を講じたうえで、適切な措置を実施する必要が生じており、空調設備の運用等に新たに検討しなければならない要素が出てきております。

今後につきましては、他都市の状況等を注視する中で、体育館等の空調設備の在り方について検討してまいります。

6月15日(月)07 岡 政吉 議員 答弁資料目次(令和2年6月 定例会)

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1	「圏域連携」に向けた取組について	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	ごみの夜間収集について	環境部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3–1	学校給食費への補助について	教育部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1	斎場の移転について	福祉保健部長	1
4-2	甲府市斎場周辺の都市計画道路の整備について	まちづくり部長	2

令和2年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

学校給食費への補助について

- (1) 質問者 岡 政吉 議員
- (2) 質問日 6月15日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 答弁内容

本市の学校給食費につきましては、学校給食法の規定に基づき、給食の実施に必要な施設、設備・人件費等の運営経費は設置者である本市が負担しており、保護者の皆様には、給食の食材費を御負担いただいているところであり、現在、小学校では1食あたり265円、中学校では1食あたり330円となっております。

特に、小学校給食においては、自校の給食室で調理を行う単独調理方式を 主に採用しています。

これにより、子どもたちが調理の音や匂いを感じることができるなど学校 給食がより身近に感じられる環境となっています。

給食が学校生活の中で、ただ昼食をとるだけのものではなく、食への関心を高め、「食事の重要性」、「感謝の心」、「食べ物を大切にする心」等の醸成が図られ、学校における食育の推進に大きな役割を果たしています。

こうした中、現在、本市では児童生徒が経済的な理由により、教育を受ける機会が制限されることがないよう支援が必要な準要保護世帯につきましては、就学援助制度により学用品費のほか学校給食費の助成を行っているところであります。

今後におきましても、現行制度を維持しながら、真に援助を必要とする世 帯に適切な支援を行ってまいりたいと考えております。

6月15日(月)08 深沢健吾 議員 答弁資料目次(令和2年6月 定例会)

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁順番
1-1	本市における地球温暖化対策について	市長	1

番号	質問事項	答 弁 者	答 弁順番
2-1	富士山噴火における本市の対応について	危機管理監	1

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁順番
3-1 3-2	児童・生徒におけるスマートフォン・ゲームなどの 依存症対策について	教育長	1

令和2年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

児童・生徒におけるスマートフォン・ゲームなどの依存症対策について

- (1) 質問者 深沢健吾 議員
- (2) 質問日 6月15日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

近年、若年層を中心に、ゲームに過度にのめり込むことにより、日常生活や社会生活に著しい悪影響を及ぼすゲーム依存が懸念されており、厚生労働省は、本年2月に「ゲーム依存症対策 関係者連絡会議」を立ち上げ、関係省庁や専門家らが連携し、総合的な対策を推進していくことが重要であるとの見解を示したところであります。

同省研究班が、平成29年度に行った調査によれば、「ネットを使用しないとイライラする」といった病的なネット依存が疑われる中高生は、全国で93万人に上ると推計されており、学校教育におきましては、インターネットやゲームへの過度の依存を予防するための取組を行うことが大切であると考えております。

これまでも、本市教育委員会では、県PTA協議会や県教育委員会等と共同で、スマートフォン等を利用する際の家庭でのルール作りを促す取組や同一校区の小中学校が、ノー・テレビ・スマホ・ゲーム・デーを実施し、スマートフォンやゲームとの適切な付き合い方について見つめ直す取組、さらには、保護者からの個別相談への対応などを各校に指示してまいりました。

また、今回の臨時休業中にスマートフォンやゲームの長時間使用により生活リズムが乱れた児童生徒が増加したことが考えられるため、各校には、児童生徒が、生活リズムを整え、一日も早く、学校生活に適応し、充実した毎

日が送れるよう、きめ細かな指導を求めたところであります。

今後、文部科学省を含む、「ゲーム依存症対策 関係者連絡会議」において、 ゲーム依存防止のための総合的な取組を推進していくとのことでありますの で、国や県の動向を注視しながら、引き続き、児童生徒の、スマートフォン やゲームへの過度の依存に対して適切な対応に努めてまいります。

6月16日(火)09 天野 一 議員 答弁資料目次(令和2年6月 定例会)

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1 1-2	甲府市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づく 対策の実施状況と業務継続計画の見直しについて	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1 2-2 2-3	感染症流行時に大規模災害が発生した場合の避難所 運営について	危機管理監	1
2-4			

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3–1 3–2	学校現場における感染症予防対策と感染症に関する 教育について	教育長	1
3–3 3–4	授業時間の確保とオンライン学習について	教育長	2

令和2年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

学校現場における感染症予防対策と感染症に関する教育について

- (1) 質問者 天野 一 議員
- (2) 質問日 6月16日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

文部科学省は、新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならないという認識に立ち、その上で子どもたちの健やかな学びを保障していくことが重要である旨の見解を示しております。

このような中、本市教育委員会におきましては、徹底した感染症対策を講じる中、5月24日の入学式を皮切りに学校を再開したところであります。

感染防止の対策につきましては、文部科学省や県教育委員会の通知を踏まえ、保健所とも協議する中で、独自に作成した「新型コロナウイルス感染症 学校再開のためのマニュアル」に基づき、各家庭に、毎朝の検温と発熱等かぜ症状のある児童生徒の登校の自粛をお願いしております。

学校では、手洗いやマスク着用の励行、可能な限り児童生徒の間隔を1メートル以上空けるようにするとともに、学級規模や活動内容により、学級を2つに分け、異なる教室で指導するなどの工夫を行っております。

また、こまめな換気や定期的な消毒、近距離で対面形式となる活動や大きな声で話す活動を避けた授業の工夫など、総合的な感染防止対策に取り組んでおります。

次に、感染症に関する教育については、各校に対して、一人ひとりの感染 予防に関する行動が、自分の命や大切な人、社会を守ることにつながること や感染者や医療従事者等に対する偏見や差別をなくす指導とともに、休み時

間や登下校など教職員の目が届きにくい場面においても、児童生徒自らが、 感染リスクを判断し、適切な行動をとることができるよう、具体的な場面を 想定した指導を指示したところであります。

今後におきましても、引き続き、徹底した感染症対策をとる中で、学校教育活動を安定的に行い、児童生徒の心身の健やかな成長とともに、この新たな感染症に適切に対処し、これからの社会を生き抜く力の育成に努めてまいります。

令和2年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

授業時間の確保とオンライン学習について

- (1) 質問者 天野 一 議員
- (2) 質問日 6月16日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

市教育委員会では、臨時休業に伴い、児童生徒が授業を十分に受けることができなかったことにより学習に著しい遅れが生じることがないよう、夏季休業日を短縮し、新たに、小学校で15日間、中学校で14日間の授業日を設けることといたしました。

これにより本年度は、190日程度の授業日数を確保できることになりますが、年度当初の計画と比べ、14~15日の授業日数減となるため、各校に対して、学校行事の精選や内容変更・準備時間の縮減、学習内容の重点化による教科指導、効果的な家庭学習との連携、時間割編成の工夫などを指示したところであります。

さらに、臨時休業中、及び学校再開後の学習支援策として、これまでにネット配信した小学校の国語・算数、中学校の国語・数学・英語の63本の動画に加え、新たに、夏季休業中に、1学期の学習事項のまとめの動画をネット及びCATVで配信する予定であり、これらの取組により、年度内の履修と学力の定着を図ることとしております。

また、国は、『新型コロナウイルス感染症対策に伴う児童生徒の「学びの保障」総合対策』において、子供たち一人ひとりに最適化され、創造性を育む教育ICT環境の整備を行うための「GIGAスクール構想」を加速させる中で学びを保障するとの考えを示しており、本市におきましても、高速で安

定した校内無線LAN環境を今年度中に整備するとともに、児童生徒の「1人 1台端末」の早期実現を検討しているところであります。

今回の学習支援動画の作成を契機に教員のICT活用に対する関心と理解が高まっておりますので、今後におきましても、新学習指導要領の目指す、主体的・対話的で深い学びの実現ためにICTを有効に活用し、児童生徒の確かな学力の向上に、なお、一層、努めてまいります。

6月16日(火)11 長沢達也 議員 答弁資料目次(令和2年6月 定例会)

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1–1	図書館施設におけるブックシャワー機の導入促進に ついて	教育部長	1
1-2	保育所等における感染防止用備品の購入について	子ども未来部長	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	新型コロナウイルス感染症に関わる専門家による相 談窓口について	市民部長	1
2-2	オンライン相談窓口について	総務部長	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1	チビッコ広場の管理について	子ども未来部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1	新生児に対しての特別定額給付金の支給について	市長	1

令和2年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

図書館施設におけるブックシャワ一機の導入促進について

- (1) 質問者 長沢達也 議員
- (2) 質問日 6月16日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 図書館
- (5) 答弁内容

ブックシャワー機は、装置にセットした本に風を当てて、ゴミやホコリを 取り除き、紫外線を照射してウイルスや雑菌を消毒し、消臭剤により脱臭す るという図書消毒機であります。

甲府市立図書館では、主に古い蔵書や汚れて返却された図書のクリーニングや脱臭に使用しており、昨年10月からは、一般の利用者の方にもご利用いただいておりました。

今般の新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う休館中は、文学書やCDなどの図書資料を中心に次亜塩素酸ナトリウム液にて清拭消毒しておりましたが、臨時窓口開設により図書の流通が始まって以降は、返却された図書に次亜塩素酸ナトリウム液での清拭と併せ、ブックシャワー機を使用しております。

現行のブックシャワー機の新型コロナウイルスに対する有効性につきましては、機器の製造元に確認したところ、製品での実証実験は行われておりませんが、大学等で行われている同種の紫外線の新型コロナウイルスへの有効性の研究と併せ、検証中とのことでありました。

一方、次亜塩素酸ナトリウム液による新型コロナウイルスに対する消毒の 有効性は、既に確認が取れているため、現段階では、図書館、公民館、及び 学校図書室での感染防止対策としては、引き続き、次亜塩素酸ナトリウム液

による清拭消毒を中心に行ってまいりたいと考えております。